

くり はら ゆたか  
**栗 原 大**市民民主クラブ  
相模原市緑区中野1360  
TEL 780-5470  
FAX 780-5471

## 市政報告

くり はら ゆたか  
相模原市議会議員 **栗 原 大**

寒さが一段と厳しくなりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。  
常日頃より、みなさまには、何かとご指導を賜り心から感謝申し上げます。  
ここに「市政報告」をまとめました。ご一読いただければ幸いです。

今、国政は自民党総裁選で第4次安倍政権が誕生いたしました。これまでのアベノミクス政策で、**地方創生や大企業優遇**の経済活性化対策は小企業等全体へ景気の潤いが行き渡らなかったのが実感とされています。

更に、森友、加計学園問題の疑惑や憲法改正、原発推進等、**国民不在のまま、「行け行けドンドン」と国政を進めています。**

とにかく、国政においては、安倍1強の1大政党ではなく、互いに競い合える2大政党において、国民のための国作りをして頂きたいものです。

さて、平成31年度は**新しい相模原市の未来をつくる新総合計画の策定年度**です。現在進められている米軍補給廠の有償返還地、リニア中央新幹線の仮称神奈川駅計画を中心とした広域交流拠点整備構想計画の継続政策はもちろんです。一方新総合計画の策定にあ



相模湖勝瀬観光提供

たっては、津久井地域を含む緑区全体の**広域観光交流拠点整備計画構想**（観光立市）の位置づけは、相模原市の経済発展に不可欠です。

私はこの大きな課題に粉骨砕身取り組んでまいります。

幸い私は地方政治に31年間に亘り携わってまいりました。

その間、「たたき上げ、どぶ板の心情」で、皆様の市政に対する要請、ご要望はしっかりと全身で受け止めて活動してきたと自負しております。

平成31年4月7日には、相模原市長・市議会議員の統一地方選挙が執行されます。

これからも私は、党派を超えて、一人でも多くの市民の方々が幸せを感じる「**今日の安心・明日への責任**」を心に刻み、皆さんと共に一生懸命に汗をかいてまいります。

これまで同様、変わらぬご支援と、ご指導を心からお願い申し上げます。



立憲民主党

## 知っていますか？「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」の制定

### 条例制定の背景

相模原市は平坦地が多いことから、自転車は身近な交通手段として幅広い年齢層に利用され、今後も自転車利用の増加が見込まれます。

一方、相模原市における全交通事故件数の割合は県内で高い状況が続いています。

平成29年は市内で860件の自転車事故が発生しており、自転車側の過失で歩行者に重篤な傷害を負わせる事例もあり、損害賠償保険の必要性が高まっています。

このことから、自転車の安全で適正な利用を促進していくため、議員提案で本条例が制定されました。

### 自転車安全利用五則

#### 1. 自転車は車道が原則（次の場合は自転車も例外的に通行可）

- 標識等、自転車の通行が許可されている場合。
- 13才未満、70才以上の方、身体の不自由な方が自転車運転する場合。
- 道路工事や連続駐車車両で自転車通行の安全確保をするため歩道通行がやむを得ないと認められる場合。

#### 2. 車道は左側を通行

- 道路の中央から左側部分の左端によって通行しましょう。

#### 3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

- 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行しましょう。
- 歩道を通行する場合は、車道寄りの部分を徐行しましょう。
- 歩行者の通行を妨げるような場合は一時停止しましょう。

#### 4. 安全ルールを守る

- 飲酒運転・二人乗り・並進は禁止されてます。
- 夜間はライトを点灯しましょう。
- 信号を守り、交差点では一時停止しましょう。

#### 5. 子どもはヘルメットを着用

- 幼児や児童が自転車を利用するときや幼児を幼児シートに乗せるときは、幼児や児童にヘルメットを着用させるよう努めましょう。

### ●自転車損害賠償保険等の加入が義務化されました





# 若者が出て行くまちから、若者が来るまちへ!!

## 一般質問（平成30年定例議会）抜粋

### 迷惑樹木について

**問1** 個人が所有している樹木が育つと倒木の恐れやその枝が公道に覆いかぶさり、通行人や車両に危険をもたらす状況が多く見受けられますが、通行の安全確保について伺う。



市道阿津奥畑線

**答1** 樹木の枝が道路に張り出すと、見通し等で通行の妨げになることから土地所有者に剪定のお願と倒木等の緊急の場合は市において伐採と剪定を行ってます。

今後、道路パトロールによって、安全安心の道路環境維持に努めたいと思います。

### 次期総合計画について

**問2** 平成31年度には10年先を見据えた次期総合計画と前期実施計画が新たに策定されますが、現在の計画内容は、市の中央地域のビックプロジェクト的な計画に集中されています。



リニア中央新幹線

津久井地区に建設されるリニア関東車両基地や4つのダム湖、旧、津久井郡の歴史を軸に外国人観光客をターゲットとした観光都市計画の次期、新相模原総合計画への位置づけについて伺う。



小原宿本陣祭

**答2** 津久井地域の豊かな自然、歴史、伝統文化に加え、車両基地を新たな観光資源として生かすことは地域の魅力が高まります。

今後、車両基地と津久井全域における観光資源のネットワークの構築をして、次期総合計画の策定に向けた中で、意見を伺いながら、観光施策の位置づけを検討したいと考えます。

### 児童手当について

**問3** 次代の社会を担う児童を養育している者に中学生まで1万円から1万5千円の児童手当が支給されますが、その増額と対象を高校生までの延長を国に求めて行くことについて伺う。



**答3** 手当の増額については、国、事業主、県、市の4者の負担になりますことから動向を注視してまいります。

市としては、子供の貧困対策、ひとり親家庭等、総合的に推進して、子育て支援のさらなる充実を図ってまいりたいと考えます。

### 結婚子育て支援について

**問4** 日本の人口は少子高齢化によって急速に減少しています。個人の価値観や出会いに恵まれないことから未婚率が急速に増加していますが、結婚を希望する者も増加している事は確かです。

抜本的な少子化対策面からも結婚支援への取組みは急務です。

結婚子育て条例について伺う。

**答4** 市では出産、子育て等の経済的負担の軽減の他、様々な結婚支援の取り組みをしていますが、直接的な結婚支援につきましても、個人の価値観が多様化している中で、一律に施策の方向性を規定することは慎重に検討するものと考えます。

### 高齢者福祉施策について

**問5** 相模原市は4人に1人、25%が高齢者になっている中で特別養護老人ホーム整備の促進は必要ですが、市における介護施設等の経営は6割以上が赤字経営です。



特別養護老人ホーム

その要因として、報酬の低さから、人材不足が指摘されてます。

市による特別養護老人ホーム、介護施設への経営支援や助成金制度の創設について伺う。

**答5** 市といたしましては、特別養護老人ホームの居住環境の改善の補助等の施設経営に係る支援をし、県では経営のアドバイザーの派遣をしています。

今後、施設経営に係る現状や課題の把握に努めたいと考えます。

人材につきましては、継続的な就職支援等の相談への対応を一元的に行う機関として介護人材センターの設置を進めていくところです。

### 新たな火葬場について

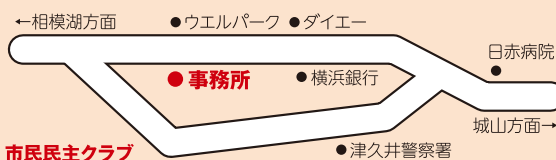
**問6** 平成26年、相模原市新たな火葬場整備基本構想を策定して諮問機関が設置され、平成36年度併用開始を目途としてますが、建設候補地の青山にある帝京大学のグラウンドは土砂災害警戒区域で安全対策上の懸念の声が上がっています。

現在の検討状況と事業説明を伺う。

**答6** 平成29年8月より青山候補地及びその周辺において、ボーリング等の地質調査を実施し、開設作業で安全対策の必要データをまとめ安全対策工法のあり方等の検討を進めてます。

今後、事業の進め方等住民の皆様に丁寧に説明していきます。

### すみずみまで行きわたるまちづくり



市民民主クラブ  
くりはら ゆたか  
栗原 大事務所 TEL 042-780-5470

行政相談室  
ご一報おまちしてます  
事務所  
相模原市緑区中野1360  
TEL: 042-780-5470  
FAX: 042-780-5471  
自宅  
相模原市緑区鳥屋51  
TEL: 090-5411-7481